

令和4年度 海洋スポーツセンター事業計画書

海洋スポーツセンター長 中村夏実

I. 年度計画・目標

1. 海洋スポーツの普及を目的に、関連公開講座、学長杯オープンヨットレースを開催する。
2. 地域振興を目的に、地域海洋スポーツ関連事業に協力する。
3. セーリング競技等における競技力向上に関する合宿を開催する。
4. 協力者会議を開催し、年度を総括するとともに、海洋スポーツ研究第28号を発刊する。

II. 事業計画（各事業の主担当者名／実施期間）

1. 教育（授業に関するものを除く）プロジェクト

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から社会情勢を考慮しつつ、適宜計画する。

（1）指導者育成（主担当 中村）

自然体験活動指導者（NEAL リーダー）資格取得講習会を企画する。

（2）小型船舶免許取得講習会の開催（主担当 坂口）

学内教職員・学生を対象とし、希望者5名程度以上の場合に実施

（3）近隣小学校の海洋スポーツ体験と大学生指導実習の合同開催を計画する（主担当 中村）

近隣小学校へのヨット学習展開の方法を検討し、試験的に実施する。

（4）海洋スポーツの教育効果に関する調査を実施する（主担当 笹子・中村）

大隅青少年自然の家「海からのメッセージ」事業との協力体制を整え、児童・生徒に対する海洋スポーツの実施効果に関する調査等を実施し、実施内容の充実を図るための資料を収集する。

2. 研究プロジェクト

（1）生涯スポーツとしてのSUP（スタンドアップパドルボード）の効果に関する研究

（主担当 中村・榮樂／令和4年 通年）

海洋スポーツ活動のうち、特にSUPを対象とし、生涯スポーツとしての普及振興を図るため、SUP運動の体力特性や健康増進効果を検討する。

（2）カヌースプリント競技・ボート競技の競技力向上に関するパフォーマンス研究

（主担当 中村／令和4年 通年）

パフォーマンス向上のためのトレーニングメニューに関する生理学的、力学的観点からの見直しと改変を実施し、実施回数やトレーニング頻度を加味した効果的なトレーニングメニューの検討、または選手個人の実践効果を検討する。

（3）セーリング競技における基礎研究の推進（主担当 榮樂／令和4年 通年）

セーリング競技（ヨット、ウインドサーフィン）におけるパフォーマンス向上のための情報収集（陸上および海上）を実施する。陸上においては、体力測定を実施、海上においては、パフォーマンス評価の指標となる項目の可視化を検討する。

3. 社会連携・社会貢献関係プロジェクト

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から社会情勢を考慮しつつ、適宜計画する。場合によっては計画変更および中止もありうる。また、令和3年度までに築いてきた、近隣海洋

スポーツ施設との連携体制を継続し、状況に応じた事業を実施する。

(1) 学長杯オープンヨットレース

(主担当 榮樂・坂口・中村・笹子／令和4年8月28日(予定))

学長杯オープンヨットレースにて、ヨットレースに加え、他種目(カヌー、スタンドアップパドルボードなど)レースまたは体験会を実施する。

(2) カノヤカップヨットレース大会協力

(主担当 榮樂・坂口・中村・笹子／令和4年8月27日(予定))

鹿屋海洋スポーツクラブが主催するヨットレースへの運営協力、およびレース終了後の講習会(実技指導等)を企画する。

(3) 公開講座(中村・榮樂・坂口・笹子)

①公開講座 A: 楽しいマリンスポーツ

(主担当 榮樂・中村・笹子・坂口／令和4年4月10日(日)～5月15日(日))

半日講座を計5回企画する。ヨットやカヌーを中心とし、経験の浅い者が、安全で楽しく継続した活動を行うために必要な知識と操船技術を学ぶことを目的とする。講座終了後、参加者自身でマリンスポーツを楽しめるようになることが理想で、参加者・応援者として活動が出来るような活動場所を推薦する。

②公開講座 B: 楽しいスキندайビング(初級者編)

(主担当 中村・榮樂・笹子・坂口／令和4年5月11日(水)～6月26日(日))

プール7回(水曜日19時～21時)、海1回(日曜日9時～16時)で、計8回の講座を企画する。安全に楽しくスキندайビングを実施するための知識と技術を習得することを目的とし、講座終了後、参加者自身でマリンスポーツを楽しめるようになることを目指す。

③公開講座 C: 少年少女楽しいマリンスポーツキャンプ

(主担当 榮樂・中村・笹子・坂口／令和4年8月2日(火)～8月4日(木))

安全に楽しく海浜活動・海洋スポーツ活動を行い、海洋スポーツの基礎技術の習得と磯観察等による環境学習を行う。また、集団活動、可能であれば2泊3日の宿泊を伴う集団生活を通して、仲間づくりや仲間とのコミュニケーションの取り方を経験する機会を提供する。

(4) マリンフェスタ in かのやへの協力

(主担当 中村・坂口・榮樂・笹子／令和4年7月中旬(未定))

マリンスポーツ部門におけるイベントの企画・実施・運営を担当する。主な種目は、ヨット、ウィンドサーフィン、カヌー、スタンドアップパドルボードの4種目であり、ヨット部、ウィンドサーフィン部、カヌー部、ボート部学生の協力を得る。

(5) 大隅青少年自然の家との事業協力(主担当 中村・笹子・坂口・榮樂／令和4年 通年)

相互に、海洋スポーツ用具の使用および事業展開における人的交流をはかる。

4. その他

(1) 協力者会議の開催（主担当 中村・榮樂／令和4年12月5日予定）

現在のところテーマは未定。

(2) 卒業生の海洋スポーツ活動状況調査（主担当 笹子・榮樂・中村／令和4年通年）

今後の海洋スポーツセンターの教育・研究・社会貢献事業の展開を検討するための、資料を得ることを目的に、卒業生の海洋スポーツ活動に関するかかわりの実態について調査を実施する。

(3) 競技スポーツにおける試合・合宿への協力

セーリング競技における競技力向上のための試合・合宿に協力する。現在のところ、開催の有無は決定していない。

(4) 外部団体海洋スポーツ実習の受け入れ

業務に支障のない範囲で、教育団体を主とした外部団体の海洋スポーツ実習を受け入れる。その際、学外スポーツ実習の場として活用できることを原則条件とする。

Ⅲ. 予算計画（附属施設経費（海洋スポーツセンター経費）2,706千円）

1. 教育プロジェクト 210千円

区分	金額	算出内訳
人件費	50千円	講師謝金（@5000円×5時間×2名）
物件費	0千円	備品費、消耗品費 等
その他	160千円	講師旅費（鹿屋－東京：80,000円×2回）

2. 社会連携・社会貢献プロジェクト 120千円

区分	金額	算出内訳
人件費	60千円	学長杯運営補助賃金（@850円×70時間）
物件費	60千円	消耗品費 等
その他	0千円	小荷物運送 等

3. その他 2,376千円

区分	金額	算出内訳
人件費	64千円	協力者謝金（@6000円×2時間×2名） 学生補助謝金（@850円×47時間）
物件費	2,072千円	燃料費、保守・修繕費、修繕関連消耗品、 印刷製本費、その他管理運営費等
その他	240千円	協力者旅費（鹿屋－東京：80,000円×2回）（160千円） 職員研修旅費（鹿屋－東京：80,000円×1回）（80千円）